

# 地域生活と問題行動を考えるための ワークシート

自閉症 e サービス  
(2011 年 5 月作成)

無断転載を禁じます

## テーマ1：運動会などの全体行事について

### <事例>

この特別支援学校では、2学期になると全校あげて運動会の準備と実施にとりかかります。1学期の間に確立したクラスの日課や活動内容も、全て運動会中心に変更となりました。自閉症のAくんは毎年運動会の時期になると調子が悪くなり、学校に行きたがらなくなって、運動会の練習中にもパニックや自傷が激しくなります。ほかの自閉症の子どもたちも何人か、運動会の練習や当日のプログラムに参加できずにいるそうです。学校側は、運動会は年に一度の一大イベントだから変更や縮小はできない、集団参加も大事だ、ということで今のやり方を変えるつもりはないそうです。

### <検討点>

- ①なぜ、学校側は、運動会が大事だ、必要だと考えているのでしょうか？
- ②運動会の準備や実施が、自閉症の生徒一人ひとりの生活や学習にとって、どういう意味があるのでしょうか？
- ③あなたの学校(施設)では、今後、運動会などの全体行事はどのようにすればいいと考えますか？

### <メモ>

### <まとめ：今後の対応方針>

## テーマ2：「好きにさせればいい」と考え方について

### <事例>

作業所に通う自閉症のBさんは、缶ジュースが大好きです。小さい頃から、自動販売機で缶ジュースを買って飲むのが日課になっていました。最近、地域での行動範囲が広がるにつれて、お気に入りの自動販売機の台数も増えていき、毎日5本から10本も缶ジュースを飲むようになりました。家では、缶ジュースを買うのを止めると本人が怒りだして余計に要求してくるので、家族はその都度買い与えているそうです。作業所の職員は、「自己主張は大事にしないと」「好きなんだからそれでいいのでは」ということで、Bさんの缶ジュースの件は特に問題視していません。

### <検討>

- ①作業所の職員が考える「好きなんだからそれでいい」の範囲はどの程度でしょうか。その基準は何ですか？
- ②もしかしたら、Bさんは缶ジュースを何本も飲まないのがすまない、強迫的に缶ジュースを買わざるを得ないのかもしれないかもしれません。そういう可能性があったとしたら、「好きにさせればいい」というアプローチをとるべきでしょうか？
- ③その後、Bさんは病気になり、医者から「缶ジュースは1日1～2本にしてください」と指導されました。支援者は、この問題を今後どのように整理していけばいいでしょうか。

### <メモ>

### <まとめ：今後の対応方針>

### テーマ3：「乗り越えさせる」という考え方について

#### <事例>

地域の小学校にある特別支援学級に通う自閉症のCちゃんは、白いご飯が苦手です。家では白いご飯にフリカケをかけたり海苔を巻いたりして、ようやく食べることができています。学校の給食でご飯が出されたときも、Cちゃんは毎回フリカケをかけて食べていました。しかし、新しい担任の先生は、「好き嫌いのある他の子どもたちは、みんな、がんばって給食を残さず食べている」「Cちゃんも甘やかせず、苦手なことを克服し、乗り越えることで成長していくのだ」という考え方で、これからはフリカケは使わずにご飯を食べるように指導していくそうです。親は、先生に、もう少し本人や家族の事情や希望を聞いてほしいと思っています。

#### <検討>

- ①先生が考えている「苦手なことを乗り越えさせる」範囲はどの程度でしょうか。その基準は何ですか？
- ②その後、学校での偏食指導のたびに、Cちゃんは泣きながら白いご飯を食べています。先生はその様子を見て、「Cちゃんも、だいぶ成長してきた」と喜んでいますが。先生にとって「成長する」とはどういうことを指しているのでしょうか？ それはCちゃんにとってどういう意味があるのでしょうか？
- ③家では、相変わらずフリカケや海苔を使ってご飯を食べています。Cちゃんの立場にたつと、食事や偏食指導において何を大事にすべきだと考えますか？

#### <メモ>

#### <まとめ：今後の対応方針>

## テーマ4：ショートステイやガイドヘルパーの利用について

### <事例>

通所施設に通う30代のDさんは、昨年、移動介護の事業所と契約し、休日や夕方にガイドヘルパーと出かけることが増えました。ヘルパーを確保するため、複数の事業所と契約しています。Dさんは重度の自閉症で言葉がなく、特に行きたい場所があるわけでもないようでした。親御さんとの取り決めで、行き場所や行き方は各事業所に任せられ、その都度、電車に乗ったりスポーツセンターやレストランに寄ったりしてきました。しかし最近Dさんは、以前ヘルパーと行ったことのある特定のコンビニに買い物に行きたいと、ヘルパーや家族の手を引っぱって何度も訴えるようになり、行く回数がどんどん増えていきました。ヘルパーが配置できないときは家族が付き合うのですが、納得がいかないと深夜や朝早くにも外出を要求するようになりました。「今はダメ」「来週行くから」と伝えて外出を控えさせようとする、暴れて親御さんを叩きに行くことも何度ありました。相談に出向いたケースワーカーからは入所施設のショートステイを使うのはどうかと提案しています。

### <検討>

- ①ガイドヘルプやショートステイを利用することで、Dさんの生活はどう変わってきたのでしょうか。それは、ガイドヘルプやショートステイの本来の趣旨にあったのでしょうか？
- ②Dさんは、なぜ、特定のコンビニにこだわるようになったのでしょうか。考えられる理由は何でしょうか？
- ③Dさんの事例で、各事業所やケースワーカーが取り組むべきことは何でしょうか。Dさんの地域生活にとって、何を考えるべきでしょうか？

### <メモ>

### <まとめ：今後の対応方針>

## テーマ5：入所施設における行動障害

### <事例>

重度知的障害で自閉症のEさんが入所している施設は定員50名で、現場の支援スタッフは全部で30名ほどいますが、約半数はアルバイトや契約職員で経験年数も1～2年です。現場経験が豊富な正職員の主任や係長が数名いますが、ほとんどの時間は事務仕事に追われて現場に入ることはあまりありません。Eさんは、ときどき二人部屋の居室の家具や壁を壊したり、リビングや入浴時に他の利用者や現場スタッフに対して突発的に頭突きをするそうです。スタッフはなぜEさんがそんなことをするのかよくわかっていません。その都度止めに入って本人を叱ったりなだめたりしていますが、いっこうに減る気配はありません。「Eさんは大変な人だから目を離さないように」と係長から注意されていますが、ふだんリビングにはスタッフが一人しかいないので、他の利用者の対応に追われて、Eさんのことまでじゅうぶんに手がまわらない状況です。

### <検討>

- ① Eさんは、なぜ、施設の中で物を壊したり他害をしたりするのでしょうか。自閉症のEさんの立場に立ってその理由・原因を探ってみましょう。
- ② Eさんの事例を通して、施設が問題解決のために取り組むべきことは何でしょうか。優先順位の高い項目をリストアップしましょう。
- ③ 入所施設において問題行動が起こりやすい場面や時間帯、スタッフのかかわり方などで共通している事柄があれば、話題提供してください。

### <メモ>

### <まとめ：今後の対応方針>